



代田・九条の会 2周年記念のつどい

晴れ上がった11月3日の午後、代田・九条の会の発足2周年記念のつどいが、昨年11月の「1周年記念のつどい」、今年5月の「憲法記念のつどい」に続き、東京都民教会で開かれました。

山崎勢津子さんたち8人グループ「ドラリー」が、花森安治さんの詩「見よぼくら一匁五厘の旗」を朗読しました。第二次世界大戦のころ、「一匁五厘」のはがき一枚で国民を兵隊に召集したのが1930～40年代、この詩ができたのが1970年、そして今年が2010年。一世代、二世代、という時間の流れが経過しています。しかし、詩の中で使われている言葉に、年月の流れを思ったが、一方では、「危険な動き」は止まっていない、現在にも通じるものがある、とも感じた。また、「ちょんまげ野郎」という表現には感心させられるとともに、この「根っこ」の部分をつまみかきしない限りは、と強く思いました。

都民教会の牧師・亀田正巳さんは、横須賀の米軍基地内の教会を見学した話をされた。実は「思いやり予算」で建設されているのですよ、との話。今までに2兆円以上に上るんです、とも紹介された。

ジャーナリストの伊藤千尋さんは「世界から見た憲法九条」と題して講演された。今年は、120回以上もの講演をされるそうで、忙しい中を縫ってのお話であった。新聞記者として、世界中のあちこちでの自らの体験を踏まえての話は説得力があった。初めに、沖縄の読谷村と、スペイン・カナリア諸島のテルデ (Telde) 市の、九条のモニュメントを紹介された。これらは、いつでも、だれでも、憲法九条が見える実例。また、伊藤さんの言う「活憲」＝憲法を活かす、の実例は、コスタリカにも、ベネズエラにも、フィリピンにもある。そこでは、それぞれの国の憲法がその国に住む人々の間に生きて、使われている、実例がたくさんある、と話された。そして、そうした例がお手本にしているのが、実は、戦後すぐにできた日本国憲法であり、第九条である、ということに改めて感じた。最後に、韓国の金大中・元大統領の「行動する良心たれ！ 行動しない良心は、悪の味方」という言葉を紹介し、今こそ、一人一人が行動する時だ、と結ばれた。

60人を超える参加者に大きな感動を与えた半日でした。会を主催した代田・九条の会の野間口代表があいさつで「代田地区の住民約2万人の1%以上にあたる200人以上の人が参加する会の活動を」とよびかけたが、それを目指してこれからも九条を守り、活かす活動を進めていきましょう。 伊東宏（代田2丁目）

- +++++
- * 花森 安治 「見よぼくら一匁五厘の旗」（「一匁五厘の旗」：暮しの手帖社刊）
インターネット上： 日本ペンクラブ電子文藝館に掲載
<http://www.japanpen.or.jp/e-bungeikan/guest/pdf/hanamoriyasuji.pdf>
 - * 読谷バーチャル平和資料館 「日本国憲法条文モニュメント」（憲法九条の碑）
<http://heiwa.yomitan.jp/3/2951.html>
 - * テルデ市のホームページで、“Hiroshima Nagasaki”で検索
九条の碑の写真（スペイン語なので内容は不明） <http://www.telde.es/content/view/341/332/>
 - * 金大中「行動する良心たれ！」（「世界」2009年11月号：岩波書店）
インターネット上では、<http://blog.goo.ne.jp/sanzenri2010/e/7468e13ffbe08fe6ed535ccc6ff59d2>





司会の高岡さん



挨拶をする都民教会・
亀田牧師



挨拶をする
野間口代表



朗読をする
「ドラリー」のみなさん



講演をする
伊藤千尋さん

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

アンケートから

1. 「ドラリー」のみなさんの朗読について

- ・花森安治さんの暮しの手帳は、よく読んでいましたが、今日の朗読はとても新鮮でした。
- ・当時をまざまざと思いだしました。素晴らしい表現力だと思いました。自らのチョンマゲ野郎と闘わなければなりませんね。
- ・「ちょんまげ野郎」は未だに生きつづけている。悪いことに、国の代表者たる多くの議員の中にだ。対抗できるのは、九条の会の様に良心に基づいて生まれた集まりだ。僅かだが手を貸したい。「一銭五厘」は未だに存在している。非正規労働者という形で。
- ・1970年のものとは思えない程、時代を超えて流れる共通のテーマで新鮮でした。
- ・70年代の世相もあまり変わらなかったと思いました。
- ・素晴らしかった。テキストの選び方にも感心。40年前のものが、今にぴったり。
- ・シンプルだが力強い、明るい朗読でした。
- ・思いがけず良かったです。大勢で少しづつ読むとかたち、迫力がありますね。色々な顔がそれぞれ個性があって面白いです。
- ・明瞭な言葉で良く分かりました。

2. 伊藤 千尋さん「世界から見た憲法九条」のお話について

- ・大変面白かったです。外国の憲法に対する態度の違い、比較が面白くて、日本人の受動的姿勢、受身的生き方、まずいよねーと思いました。
- ・「活憲」の話は、自分自身のあり方を見なおすことの原点としたい。頑張れるかな。
- ・さらに素晴らしかった。元気付けられた。何かしなければと想います。
- ・憲法を活かすという点は同感です。裁判は、日本では高価な代償。
- ・大変な活動、お話に、笑い感動しウルウルもしました。生き生きと生活する事、信念を持って生きること。勇気づけられ励まされました。
- ・精力的な取材と行動力に裏づけされたひとつひとつのお話に時間を忘れて聞きいりました。メモをまた自宅で読み学びたいと想います。
- ・伊藤さんは、素晴らしい人材だと思います。私もすっかり共感しましたが、社会に余り感心のないと思われる近所の奥様が、ファンになってしまいました。
- ・元気がでる楽しいお話でした。
- ・面白かったです。

3. 今回のつどい全体について

- ・有意義で楽しい文化の日になりました。有難うございました。
- ・この会の企画には、いつも感心させられますが、今回も素晴らしかった。
- ・知識人のあつまりかなと思った。
- ・話が上手だが、長い。(思いがあふれているのかも)
- ・若い人を引き込みたい。
- ・大変よい企画だったと思います。もっと誘えばよかった。
- ・よかったです。
- ・砧・大蔵九条の会に顔を出していますが、なかなかよい会が出来ません。広がらないのです。

4. 代田・九条の会のとりくみについてのご希望・ご提案

- ・「九条着物娘」の精神で広く皆が嬉しい活動になるようがんばって下さい。
- ・とても良い会でした。発想が良いと思います。

5. その他

- ・クラスター爆弾、マスタード・ガス禁止のための会があったら、情報がほしい。
- ・九条に関心のない人に感じてもらうには、勉強よりも「ドラリー」の朗読みたいなものの方が受け入れやすいのかなと思いました。でもお金がかかるでしょうね。

代田・九条の会 資料集 「憲法記念日によせて お話と歌のつどい」

5月8日の「つどい」の資料集ができました。当日、嬉野さんの使用された写真などを掲載しています。 1部：500円 ご希望の方は 伊東まで (Tel/Fax 03 - 3411 - 9179)

米軍への「思いやり予算」のこと

2周年のついでで、亀田牧師の話に出てきた、防衛省の「思いやり予算」。調べてみると、平成23年度予算編成では、防衛省はこの思いやり予算＝「在日米軍駐留経費負担」1858.9億円余を通常の予算の要求ではなく、「元気な日本復活特別枠」として要望していることが分かった。防衛省が「要望事業シート」として提出した説明資料では、「駐留経費の一部を負担することにより、独力で防衛力を構築するよりもはるかに少ない経費で、わが国の平和と安定を確保することが可能となっている。したがって、在日米軍駐留経費負担は国民生活の安定・安全を維持するため、極めて有効」としている。内訳は、基地従業員（駐留軍等労働者）の給与等の労務費、在日米軍が公用のために使用する電気、ガスなどの光熱水料等、及び、厚木飛行場に展開する部隊が実施する空母艦載機夜間着陸訓練の硫黄島への移転に要する訓練移転費、である。「基地ありき」から出発しており、発想が逆立ちしているように思う。

11月4日までの一般からの意見をまとめた「評価会議」の資料によると、751人のうち「必要があるとは思わない」46%、「思う」37%、となっており、他の要望枠に対する意見よりは「思わない」人の割合が多い。12日には、公開で、ヒアリングが行われた。が、評価者側が、「議論がなじまない」として、取り上げず、全額を認めた形となった、と報道されている。どちらも無責任なことだと思う。

基地がなくなれば、これだけの額のお金が、教育費・文化予算など、いろいろなところに使えるようになってくる。丁度、沖縄の知事選が始まった。「基地をなくせ」という声を大きくするチャンスだ。(I参考) <http://seisakucontest.kantei.go.jp/article/>。

http://seisakucontest.kantei.go.jp/article/wp-content/uploads/2010/11/hearing_MOD1.pdf

集会等の紹介

11月 21日(日) 13:00～17:00

第7回世田谷 高齢者のつどい

シンポジウム 自治体における高齢者医療制度を考える

パネラー：青木国太郎氏、野口マリ子氏、 司会：中村重美氏

映画「ただいま それぞれの居場所」 新しい介護のかたち

《介護の現場取材したドキュメンタリー》

会場 東京土建世田谷支部会館（バス停「駒留」（渋05、森91）下車）

主催 世田谷高齢者のつどい実行委員会（Tel 03-3413-3020）

11月 27日(土) 15:00～18:00

九条の会 事務局 主催 学習会 テーマ「新安保防衛懇報告と憲法9条」

講演「新安保防衛懇報告と自衛隊のゆくえ」 半田 滋さん（東京新聞編集委員）

講演「民主党政権下の日米同盟と防衛政策 ～ 新安保懇報告を素材として」

渡辺 治さん（九条の会事務局）

会場 在日本韓国YMCA地下ホール（水道橋駅下車） 参加費1000円 申込：不要

12月20日(月) ①午前10時 ②午後2時 ③午後7時 の3回上映（開場は30分前）

映画 「いのちの山河 日本の青空 II」 大澤 豊監督作品

会場 めぐるパーシモンホール大ホール（Tel 03-5701-2124）

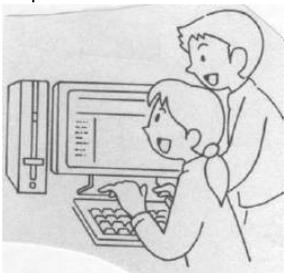
（東急東横線・都立大学駅より徒歩7分 または

東急バス 渋34、都立01などで「めぐろ区民キャンパス」下車すぐ）

主催 目黒「いのちの山河」を見る会（Tel 03-5768-1514 西小山診療所内 米山さん）

（参加ご希望の方は、お近くの事務局員まで）

チケット：大人1200円（当日1500円）、中高生500円



日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない

お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。